

い爲め練習場の造られない事は遺憾に思ふ、其内良い地所を見付け完全な射的場を作り、他の二部に遜色無き發展を期そう。最後に自分は此の稿を終るに當り、特に吾校庭球部獎勵の爲め、甲府市和田平町奥山治義氏のボール一箱寄贈せられし事を衷心より謝禮す。

運動せざるものは墮性に陥り安く、心に眞の快樂、要するに天真爛漫たる事無くして常に幽鬱性となる、規律正しき運動は前述の如く心身を壯健にする。宜敷從來の否運動家は讀ふて各部の何れにでも入會せられ、以て活潑に、以て意氣ある生活をなし人生の幸福を得られん事を切望す。(吉田生)



文學部報

時代は刻一刻に進轉し、文化の發展科學の進歩、その歸趣する所を知らない。歐米の文物を入れて後の日本、世界の向上諸機關の發明には驚くの外ない、これらあらゆる諸機關の發達は實に人生をして平等に幸福に、自由に惠ませたいのが本義である。少くとも御互人類をして幸福ならしめんが爲に、整ひ造られつ行きつあるのである。

然らばこれらによつて果して人類が眞の幸福たり得るか！そは拙筆にセイ言するまでもないほど亂用され一面反比例し世

を擧げて混亂、亂世遂に國家を根底より覆さんとする主義へ益々深刻に且堅實に、而も津々浦々に浸入した。

今にして思想善導せずんば、さは政府の資を投じて設けつゝある所以である。然らばこれによつて眞に善導し得るか、と眺める時吾々の責任の如何に重大であるかぞ窺れる。と同時に思想の惡化は吾々の罪であるを謂ひ得る。明治維新のあの大業も國体眞に絶叫された人によつて遂に遂げられた。詳の歴史の時代も又然りである。斯く思ふと如何に社會思想の充分なる研究、彼らに對する勇猛精進の研究が必要であるか！眞摯なる研究が必要であると同時に、佛教釋尊の根本精神を以つて國民思想吾人類思想の根底とすべしと絶叫した、日蓮上人の教へを理解させ信仰させる我々若人の双肩の責任の甚大さが胸にヒシく迫る。

茲に於て長らく中止の棲神を發刊し御互の意見を發表し、交換し諸君の努力を希ふ次第です。終りに校正の不備編輯の不振とを呉々も深謝すると同時に、左記書籍雜誌御贈與下されし諸氏に厚く感謝する次第である。

- | | |
|--------|--------|
| 社會事業研究 | 岡島伊八殿 |
| 大阪毎日新聞 | 全 |
| 天業民報 | 天業民報社殿 |
| 身延教報 | 身延教報社殿 |
| 立正 | 高杉立正社殿 |
| 覺醒 | 大阪覺醒園殿 |

傳導 團の光 信友月報 あさひ 立正教報 奉仕 日本文化 大統 斯民 教宙 宇宙 立正新聞 宗報 明治 人道 端評新聞 瑞雲

以上

會友
學院生

大阪傳導社殿 京城團教社殿 名古屋信友會殿 大阪あさひ社殿 神戸立正社殿 佛教奉仕社殿 里見研究所殿 東京大統社殿 中央報德會殿 教發行所殿 岩城立明君 近藤惠聰君 宗務院殿 天業民報社殿 人道社殿 端雲社殿 村雲婦人會本部殿 (田代生)



昭和三年十一月十五日印刷
昭和三年十一月二十日發行

編輯人

山梨縣身延村

渡邊 日龍

發行人

山梨縣身延村

田代 榮正

印刷人

甲府市柳町七十四番地

青柳 詢一郎

印刷所

甲府市柳町七十四番地

芳文堂印刷所

發行所

山梨縣南巨摩郡身延山久遠寺

祖山學院同窓會文學部